

# 01 「産後ケア」の内容が3種類に！

産後のお母さんの声をもとに、市の産後ケア事業を拡充

産後のお母さんを対象に市が行ったアンケートで、7割の人が「出産後～産後3カ月頃」に生活や子育てに対する不安・負担を最も感じていることが分かりました。市は、子育て支援の充実を目指し、産後の子育てをサポートする産後ケア事業に新しいサービスを設けました。既存のケア事業を含め、本年4月から利用できる3種類の産後ケアを紹介します。

new

サポートNo. 1



## 新規！市内宿泊施設(あえりあ遠野)で「産後ケア」



一人で悩まず、  
まずは気軽に相談ください。



▲ 市助産院のスタッフ  
左から\_ 菊池淳子看護師、増子幸子助産師、昆野幸恵助産師

### ● 利用できる人

- 次の全てに該当する人
- ▷ 市内に住所がある
- ▷ 産後4カ月未満のお母さん
- ▷ 体調や育児などに不安がある
- ▷ 医療行為が必要ない

### ● ケア内容

あえりあ遠野で市助産院スタッフとゆっくり過ごす産後ケアです。  
▷ 育児の相談 ▷ 授乳状況や赤ちゃんの体重確認 ▷ 乳房ケア ▷ 赤ちゃんを預けて入浴・休息——などのサービスを受けられます。

### ● 利用方法

希望日の7日前までに電話で相談

### ● 時間・料金・利用回数

- ▷ 1回5時間半
- ▷ 3,000円(今年度は、県の事業費補助により無料で利用できます)
- ▷ 1人最大4回まで利用可

### ● サービスの流れ(例)

- 10:00 ● 受け付け(あえりあロビー)
- ケア内容の相談
- 希望のサービス
- 乳房マッサージや育児相談 など
- 12:00 ● 昼食
- 13:00 ● 希望のサービス
- 赤ちゃんをスタッフに預けてゆっくり休息・入浴 など
- 15:30 ● 帰宅

## サポートNo. 2 自宅で産後ケア



自宅でケアを受けられます。市の助産師が訪問します。

### ● サポートNo. 2・3 共通事項

ケア内容 ▷ 育児や母乳の相談 ▷ 赤ちゃんの沐浴支援・体重測定 ▷ 母乳ケア ▷ 産後の心と体の相談 など  
料金・利用回数 ▷ 無料 ▷ 利用回数制限なし  
利用方法 ▷ 電話で相談ください

## サポートNo. 3 助産院で産後ケア



市助産院(遠野健康福祉の里内)でケアを受けられます。

利用できる人(次の全てに該当する人) ▷ 市内に住所がある ▷ 産後1年未満のお母さん(お父さんと一緒に利用できます) ▷ 体調や育児などに不安がある ▷ 医療行為が必要ない

● 産後ケア事業の内容や相談など、気軽に連絡ください

市助産院「ねっと・ゆりかご」(遠野健康福祉の里内) ☎62-1103

ばば、ままだよ、みてはぶ〜

# 遠野市の

# 産前産後サポート

市は、産後のお母さんの体と心の健康を守るため、「産後ケア事業」や「妊産婦への助成」を行っています。新年度から始まる新しい内容を中心に紹介します。

information  
お知らせ

- 01 New / 新しく「市内宿泊施設での産後ケア」を始めます
- 02 New / ハイリスク妊産婦に出産前の待機宿泊・交通費用を助成します

new

## 02 ハイリスク妊産婦の出産前の待機宿泊&交通費を助成します

妊産婦が市外の県内医療機関で健康診査を受けるときの交通費を助成しています。本年4月からは、ハイリスク妊産婦の出産前の待機宿泊費と交通費も助成します。

### ● 妊産婦への助成内容

既存の交通費助成(対象/本市の妊産婦全員)

継続	交通費	市外(県内)で妊産婦健康診査を受けた場合、医療機関の所在地に応じた金額を支給しています。
----	-----	--

### ↓ ハイリスク妊産婦への助成を新設しました

新しい助成(対象/ハイリスク妊産婦)

	分類	助成額	備考	
新規	出産前の宿泊費	実費相当	助成総額は、1回の分娩で最大5万円	
	出産前の交通費	自家用車		既存の助成と同額
		タクシー 公共交通		実費相当

### ● 助成対象者

▷ 本市に住民登録している妊産婦とハイリスク妊産婦(里帰り出産のため、本市以外に帰省した場合は助成対象外となります)

### ● ハイリスク妊産婦とは

▷ 医師からハイリスク妊産婦と診断を受けている人  
▷ 周産期母子医療センターに通院・入院している人

### ● 問い合わせ

市保健医療課(☎68-3186)  
市助産院「ねっと・ゆりかご」(☎62-1103)